

● 第 24 回巡検「夏休み化石教室」報告 ●

森岡 美和

去る 8 月 26 日(日) 午後 1 時より 3 時 まで行われた巡検のご報告を致します。

室戸市羽根町 羽根産業社に集合した 20 名は、南会長・竹島副会長の挨拶の後、講師の三本健二さんより資料を配っていただいて、登(のぼり)層の特徴を学習しました。唐ノ浜層群登層は新生代 新第三紀 後期鮮新世の地層で、貝類を中心とした多くの動物化石を産出します。二枚貝、巻き貝、鯨の歯、サンゴ、魚類の耳石など印刷されている資料を見ながらわくわくしていました。いよいよ露頭へ。講師の指さす先には、山肌の現れた白く輝いている部分がありました。

一同は採石場を目指して登っていきました。現場は真夏の太陽がギラギラと照りつけている乾いた粘土質の地層で、いかにも化石が出そうな雰囲気はありましたが、いざ探してみると、細かいものが多く、あまり大物は見あたりません。しかしながら一同は黙々と掘り続け、化石らしいものがあれば講師や会長・副会長のもとへ届けます。

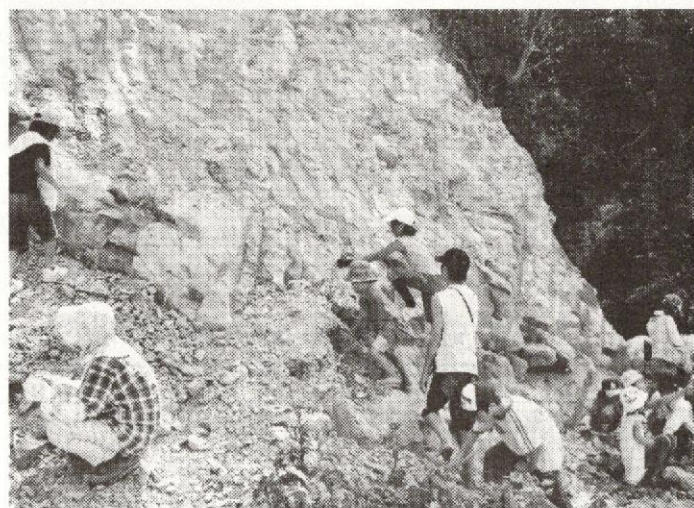
炭化した植物の破片や有孔虫、甲殻類の生痕のようなものなど、素人受けしない、ぱっとしないものが多く、数 cm の貝殻などまだいいほうでした。スタッフ側もちょっと心配顔。講師の三本さんも、耳石などを拾ってきては小学生や保育園生に説明しながら渡していました。

そうこうしているうちに、ある男の子が「これは何だろう」と講師のもとへ持ってきたものが、魚の鱗の塊でした。ハンマーで割られた岩石の表面に、直径 5 mm ほどの鱗がびっしりついてるものです。魚本体が近くで見つかるかも……と期待が高まりました。

しかしながら、2 時間を過ぎても、大きな発見はないまま閉会をすることになりました。見つかったいくつかの化石は、佐藤さんがビデオ撮影をしてくださって、NHK に投稿してくださったので、9 月 13 日(木)の「まるごと情報市」で放映されました。mail 会員の方にはお知らせいたしましたが、その他の方もご覧いただけたかもしれません。



化石採集風景



写真撮影：南 寿宏 会長